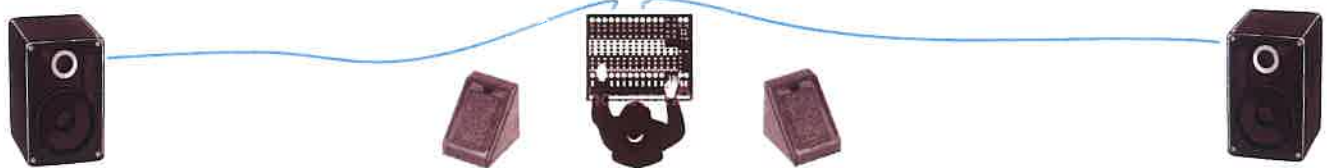


上はジャズバンドから発展した一般的な組み合わせです。
エレキギターの使い方は変化が多く、2本になったりキーボードに変わったりもします。
ボーカルは一人で歌やマイクパフォーマンスを演じ、ギターを担ぐこともあります。
また、ボーカル以外のメンバーも歌うためにマイクを着けることがあります。



ドラム以外の音は電力でスピーカーを鳴らしますから、
会場の鳴り方はクラシック音楽の響きとは異なります。
しかし、むらなく音を行き渡らせるためミキサー調整をする専門家が必要です。
客席のための大出力スピーカー、舞台上のモニター(返し)など、
いろいろな種類や大きさのスピーカーが使われます。

子育てのアレコレにまつわる つぶやき⑧『存在価値』



京都光華女子大学心理学科 大谷多加志

今回は連載初回に書いた「学生のメンタル不調」と関連するお話です。大学に着任し、想像以上にメンタルの不調を抱える学生が多いことに驚いた、という内容のことを書きましたが、現在も状況は変わっていません。メンタルの不調を抱える学生さんは、時に自傷や自死を考えたりもするようです。自分を傷つける行為の背景に、自身の存在意義への疑いがある場合もあります。必要性や価値がない自分を、だからこそ自分で傷つけたりぞんざいに扱ったりするということに、やりきれない辛さを感じます。

そんな学生さんたちが、看護師や福祉職、心理職など、対人援助の仕事を目指しているのも、少し悩ましい状況です。誰かの力になりたい、という思いは尊く、利他性は援助職の根本でもあります。一方で、“誰かの役に立てる自分は有用な存在”という論理で、存在意義の裏打ちのために、援助職を目指している部分もあるように感じます(これは誰しもそうかもしれませんが)。援助職養成の現場ではこのような欲求を「メシア欲求」と呼び、援助職が自覚しておくべき感情であると考えられています。なぜなら、“誰かの役に立つ”ことを求めるあまり、支援がうまくいかなかったことで援助職者が自分の価値を疑ったり、あるいは援助関係を維持するため被援助者の自立を妨げたりするリスクがあるからです。

自身の経験を思い出しても、「メシア欲求」のような感情は確かに自分の中にも存在していて、なくせばよいという単純なものではなく、うまく付き合っていくことが求められる感情なのだと思います。そんなことを考えていた時に、そういえば今はもうメシア欲求的な感情が自分の中にあまり存在しなくなっていることに気づきました。では、今は何が利他的行為のもとになっているかと考えると、それは「自分がしてもらったことを、次世代につなぐ」という、ある意味で義務的な動機でした。幸いにして、私は多くの先達から、たくさんの助言をもらい、チャンスを与えてもらってきました。そしてほとんどの人たちが、直接の見返りを求めるのではなく、それを次世代につなぐことを望んでいました。それは、『自分もそうしてもらったからだ』と。

有能だから託されたわけではなく、偶然の巡り合わせで果たす役割があることが、“自分の存在意義”を考えなくてもよい状況にしてくれていたのかもしれませんが。存在意義を探す学生さんたちに、そんな巡りあわせがあれば…と願います。

パトリエつなげたい
ホッとすよね





ボンチチ 15

9月号

「はらっぱ」をご覧のみなさん、こんにちは。
卒園生の父で川口慶と申します。
このボンチチでは、書籍やボードゲームの紹介をさせていただいております。
この連載も15年目になりました。よろしくお願いいたします。

「神経衰弱」と「たし算」が1つになった！



トータスMEDAL

メーカー：福永紙工
デザイナー：三星安澄
対象：6歳以上
人数：2～4人
プレイ時間：5分程度
参考価格：¥1980（税込）

今回紹介するゲームは「トータスMEDAL」です。「神経衰弱」と「たし算」が1つになったメダルゲームです。

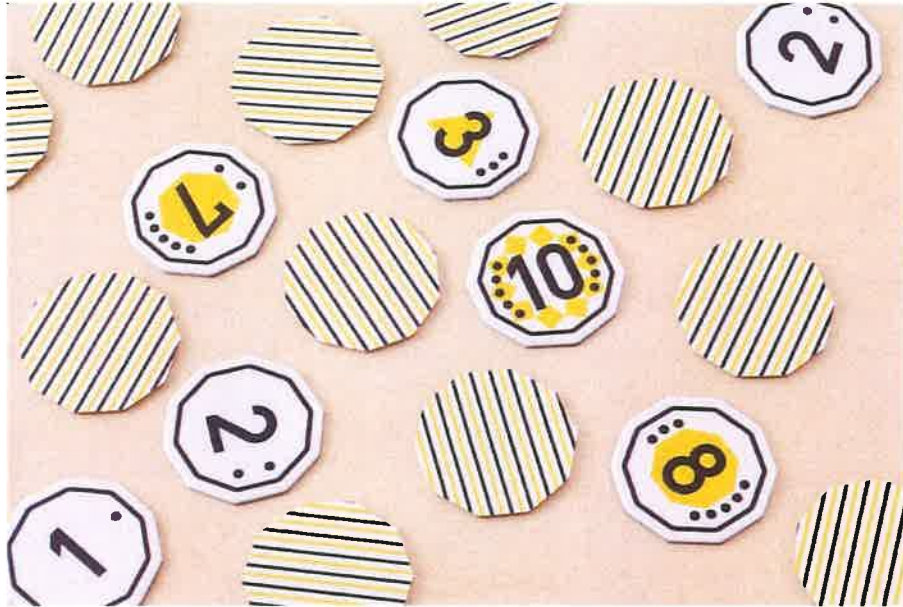
ルールは簡単。すべてのメダルを数字が裏になるように並べてジャンケンなどで順番を決めます。最初のプレイヤーは好きなメダルをめくって裏に書かれた数字を足していきます。足してちょうど10になったら、めくったメダルを獲得することが出来ます。そして連続してまたメダルをめくることが出来ます。この獲得したメダルの枚数が得点となり、1番多くメダルを獲得した人の勝ちとなります。

めくったメダルが10を越してしまったら、メダルをもとに戻して次の人の番になります。こうして順にメダルをめくっていき、全部なくなるか、そろわないものだけが

場に残ったらゲーム終了となります。

勝利のコツは、いきなり10をめくるのではなく、 $1 \cdot 2 \cdot 3$ のような小さい数で10にするようにめくることで、メダルの枚数を稼ぐことができます。

ゲーム会でもみんな夢中で遊ぶ鉄板ゲームの一つです。幼稚園のお子さんでも、楽しく遊びながら、計算力の基礎を身に付けることができます。ぜひ親子で遊んでみてください。



倶楽部 ダンケビツテ

倶楽部ダンケビツテは家族向けのボードゲームサークルです。

今は、コロナ感染症があったため、活動を休止しています。

活動再開を模索中ですが、最近では原地区センターで月一開催されている「みんなの食堂」へボランティアとして参加し、ボードゲームを広げています。

「みんなの食堂」は一般社団法人蓮の森さんが開催している、いわゆる子ども食堂です。どなたでも無料で参加でき、一緒に作り一緒に食べ一緒に遊ぶ会です。

毎月最終日曜日 10:00～ 原地区センターで開催予定です。

今後もこのページで書籍やボードゲームの紹介をしていきます。よろしく願いいたします。

「深夜」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

「夫は多忙な人で、帰宅は連日22時、23時…」と語る妻。



彼らには四人子どもがいて、もつずいぶん大きくなったが、

学齢前や小学生の頃など、家は戦場のようであった。



その頃も夫は多忙だった。



そんな時期のことで、面白いと思ったエピソードだ。

連日の深夜帰宅、彼女は一番下の子に添い寝したまま眠ってしまったていることが多かった。



その状況なら、静かに起こさないよう気遣う夫も多いだろう。



しかし彼は、夕飯をチンして、一人で食べて入浴して寝る選択はしなかった。



眠ってしまったる妻に声をかけた。



最初、昼間の疲れもあり、かなり不機嫌だったらしい。



しかし夫は性懲りもなく、毎日帰宅したら妻を起こす。



寝ぼけ眼の彼女に、「今日はどんなことがあった?」、「今日はこんなことをしてきた」と聞いた話したりする。



連日そうしていると、帰宅にあわせて起きてくるようになった。



子ども達が寝静まった家で、夫婦が夜中近くに毎日、話をした。



ここに家事、子育ての平等分担はない。



しかし子育てを担っている妻への思いは、漠然としたものではない。

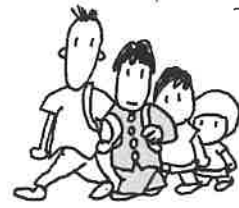
ちゃんと大変さを分かっている夫のものだ。



そんな子育て期は、何十年も続かない。



一人ずつの成長に伴って、
子育て負担は刻々
変化していった。



ここに常にあったのは、
四人の子育てを
担う妻は
大変だろうという
夫の想像力と理解だ。

「そんなのは専業主婦の
家庭だから言えること！」

なんて言いたい人が
あるかもしれない。



でも考えてみてほしい。

上手くやっている人になぜ
文句が言いたくなるのだろう。



上手くやっている人が
皆同じなのではない。



方法は各家庭に
たくさんある。



一方、条件が整っても
不満の種の尽きない人もある。



少子化に慌てた国は、
異次元(?)な
思いつきを
いろいろ言い始めている。



でもそれは、上手く
やれなかったところ
からの言葉だ。



そんな人が、
新たな制度や規則を語るのが
賢明なことだろうか？



無論、それを家庭に
持ち込んで、
うまくいく人は
そうすれば良い。



しかし、縛りの多い
社会や校則のうるさい
学校の方が良い世界だと
は言えない。



家族をじょうずにやるには
あれこれ外からのルールを
持ち込むより、



我が家の工夫を
模索するのがよいと思う。



“木陰の物語” 広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、
あなた自身の物語をお寄せください。

「好き嫌い」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

どこにたどり着くのか、
何歳まで生きるかなど
決められない。

誰が一番有能か、とか
専門性が高いか、などを競わされても
目標にはならなかった。



自分のことは自分で
決めたい、
そう考えるように
なって久しかった。



だが組織で働いていると、
自分が何をするかを
他人に決められることが
少なくなかった。

二十五年間の公務員生活、
私がどこで働くか、
何をするかは人事異動が決めた。



むしろ、
若い頃には
それがチャンスだったり、
新たな扉を開ききつかけ
だったりした。



しかし四十代も後半になって、
自分の考え方も
定まりつつあった。



そんな頃に、
わたしの異動先が

他の人の人事絡みで、
語られるようになったのは
不本意だった。

だから五十歳で
公務員を退職することに
決めた。



次の就職が決まっている
のだからと言った人も
あったが、そんな理由で
退職するのではなかった。



専業主婦の妻と子ども三人の
世帯主の私が
雇用を失った。

これからどうするのかと
案じてくれる友人も
多かった。

私は働く気持ち満々だった。
まだ五十歳。
もう二十五年は頑張れる。

雇用されるだけが仕事ではない
と思っていた。



だからといって
当時流行していた、
「開業カウンセラー」には
ならなかった。



自分の考える仕事の仕方を探りたいと思っていた。

「そうはいっても現実には親身な年長者にはたしなめられた。」



ローンは抱えない主義だったので、
日銭が稼げれば、
その日暮らしも
可能だった。

子どもたちの教育費は
退職金でなんとかとなると
思っていた。



自由に仕事をする事と、
安定して稼ぐことは
一致しない。



しかし自分の
することも、
しないことも、
自分で決められた。



嫌なこと、賛同できないことは
やらない自由があった。



そうしても
同僚に迷惑が
かかることはない。
働きたして
初めての
経験だった。

「我慢」は仕事ではない、
と思いつつも、
その場から
離れられないと
結局、歳をとつても
そう言っている



自分の「好き嫌い」を
大切にできるのは
気分が良かった。



数年経って、大学院の教員に
誘われたとき、



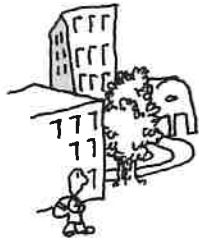
好きではない事務仕事や
会議の少ない立場でなら、
と希望した。



それまで大学で働くなど、
一度も考えたことがなかった。



快適だったので、
七十歳の定年まで勤めた。



それから七年、
この歳になつても好きなことを
忙しくこなしている。



人生はなかなか思ったようには
行かない。それでも大抵は
それを引き受けて生きる事になる。



だから
自分の人生の大事なことは、
好き嫌いで決めておくことだ。



“木陰の物語”
広がる! プロジェクト

<https://honblock.net/kokage/>
「木陰の物語」を読んだ感想や、
あなた自身の物語をお寄せください。

「居られない人」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

家族面接をしていると、
その場に居られない
タイプの人に時々会った。



居たたまれなさを
怒りで表してしまっ
父親が多かった
気がする。

どうしてそんなに
弱虫なの？と私は
心の中で思っていた。



なにかにつけ
自分の感じ易さばかりを
大切にしているのは
得策ではない。



ある種の鈍感さは、
生きていく上で
不可欠だ。



名古屋から京都に
新幹線で相談に来た
両親があった。



かなり早目に
着いたので、
まだ前の来談者が
面接中だった。



どこかでいっぶくして、
定刻前に来てほしいと
受付で言われたのが
父親は我慢ならなかった。



妻の言葉は聞かず、
怒って帰ってしまった。



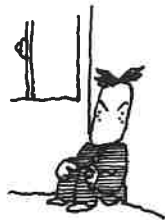
その結果、残された
母親だけと面接をした。



長男の不登校。



事情を聴くと、
父親自身も今、
鬱(?)で
休職中らしい。



更に話を聞くうち、
奇妙な感じがぬぐえなくなった。



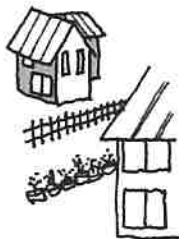
現在、父親は実家で
両親と暮らしているという。



自宅は母親と長男、
次男の三人暮らし。



二つの家は同敷地の
隣同士だという。



父親の父が
経営する会社の
次期社長ということで



大学院卒業後、
十年程、他社で働いて
数年前、父の会社に入社。



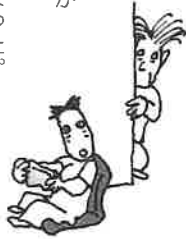
そこでぐずぐず
言い始めて、
休職になった。

三十代半ばで入社した
父の会社の従業員の目が
居心地悪かったらしい。



出勤もせず、自宅で
愚痴るのを妻は
イライラしながら
見ていた。

そんな中、長男が
不登校になり、
家にいることになった。



父親と息子が一日中顔を
合わせているのは
みんなにストレスだった。



父親が隣の実家に
逃げ出すようになった。

はじめは夕飯時には
戻っていたのだが
だんだん帰らなくなった。



そして実家に
泊まり込むように
なった。

今では長男と父親は
同席できないという。



父の会社だから、
休職もルーズなもので、
診断書が出ているわけでも
ないらしい。



生活には
十分な給与が
会社から毎月
振り込まれている。

これを不登校ケースだと
言えるだろうか？



私には、父親に
息子のことを
取り組んで
もらうのが
一番に思えた。

それが、父親自身の抱えた
課題改善への一歩にも
なると思った。



とにかく次回再度、
定刻にご両親で
いらしてください。



スタートはそこからだった。



“木陰の物語”
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、
あなた自身の物語をお寄せください。

みなさんこんにちは。

こどものとも社の高林信作と申します。

毎月、原町幼稚園さんに、福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。

ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思います。



ついに登場！絶滅した親戚ネアンデルタール人

およそ180万年前、『人類のゆりかご』と言われるアフリカを最初に旅立った、ホモ・エレクトスという原人でした。

ホモ・エレクトスはその後、西アジア、中国、インドネシアのジャワ島などに広がっていきました。

インドネシアのフローレンス島ではホモ・エレクトスから進化したホモ・フロレシエンシスが発見されています。身長は1メートル程度でホビットという別称もあるくらい小型の人類です。

(ホビットはJ・R・R・トールキンの『ホビットの冒険』『指輪物語』に登場する小型の種族です。)

フローレンス島では小型化したゾウの仲間や巨大化したハゲコウという鳥やコモドオオトカゲなど、動物が島嶼化(どうしょか)したワンダーランドのような現象がおきたようです。

(島嶼化とは島特有の環境のもと、特異な形態や生態を進化させる現象のこと)

100万年前後には、世界各地にホモ・エレクトス、ホモ・フロレシエンシス、ホモ・ナレディ、ホモ・アンテセソール、ホモ・ハイデルベルゲンシス、などがいたようです。

ホモ属が世界各地に広がり、進化をしていく中で、およそ20万年前にヨーロッパに渡ったホモ・ハイデルベルゲンシスの一部がホモ・ネアンデルタール人(ネアンデルタール人)が誕生しました。そして、アフリカに留まったハイデルベルゲンシスの中から我々の祖となるホモ・サピエンスが誕生したとされています。



※進化の過程はあくまでもかあせつです。日々研究が続けられ、新たな発見が待たれています。

ネアンデルタール人

身長は150~175cm
体重は64~82kg
脳容量は1200~1750cc

がっちりとした体格で
頭骨は前後に長く、
眉の部分の部分がひさしのように飛び出し、
顔全体が前方に突き出ている



少し前まで、私たちホモ・サピエンスはネアンデルタール人から進化したと考えられていました。しかし1997年に発表されたネアンデルタール人のミトコンドリアDNAの配列はホモ・サピエンスとは大きく違うことがわかりました。

しかし、更なる科学の進歩により、2010年の研究で40臈塩基分のDNA配列の解読の結果、東アジア人とヨーロッパ人にはおよそ2.5パーセント程度の割合でネアンデルタール人のDNAが混入していることが明らかになりました。私たち現生人類はホモ・サピエンスという種として唯一単体と考えられていたものが、実は大昔に絶滅してしまった親戚がいたのでした。

つづく

みなさんこんにちは。
 こどものとも社の高林信作と申します。
 毎月、原町幼稚園さんに、福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。
 ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思います。

♪

誰にも内緒で お出かけなのよ どこに行こうかな

♪

1年に2回ほど放送されている「はじめてのおつかい」
 皆さんも一度は観たことがあるのではないのでしょうか。
 幼い子どもがはじめて1人でお使いに行く大冒険番組です。
 実はこの番組ができるきっかけとなったのが、絵本の
 「はじめてのおつかい」でした。



絵本「はじめてのおつかい」は1976年に福音館書店の月刊絵本3月号に登場しました。今から48年前です。

当時主婦をされていた筒井頼子（つついよりこ）さんが、ご自分のお子さんにおつかいを頼んだという実体験を元にお話を作り、それを福音館書店に持ち込みました。

一般の方が作品を出版社に持ち込み、それが出版されることはほとんどないのですが、元々の出来が相当よかったようで絵本化が実現されました。

物語のモデルになった筒井さんのお子さんはおつかいに失敗してしまったので、お話では成功させてあげようとストーリーを考えたようです。



絵を担当している林明子（はやしあきこ）さんはすでに何冊か子どもを描いた絵本を書いたので、絵を担当することになりました。

ここに、林、筒井の最強コンビが誕生しました。しかし、天才林も最初から今のような子どもの絵を描いていたわけではなく、筒井さんのお宅に通い何百枚もの子どもの姿や仕草をスケッチしたそうです。ときどき絵本のこの姿うちの子に似ていると言った声を聞くのですが、それは林さんが子ども特有の仕草をしっかりと捉えて絵にしているからだと思います。

林さんの絵本作りの特徴の一つに、ストーリーとはあまり関係の無い絵を描くことがあります。これが、林さんの魅力の一つになっています。そして、子どもの心理、好奇心、探求心などを考え、子どもを子ども扱いしない、子どもが見るものだからといって手を抜かないという林さんの子どもに対する思いも感じられます。



ここからは「はじめてのおつかい」の裏話を紹介します。



まず、主人公のみいちゃんが家を出る場面ですが、初めてのおつかいで緊張しているのでしょうか、右手、右足が同時に出てしまっています。

それと、このお話にはお父さんが登場しませんが、お父さんの存在を示すようなメッセージがポストに書かれています。この絵では見えにくいので実際の絵本で見てください。



←このページはお友達にあい、
1人でおつかいに行くことを話して
いるシーンですが、ページの左側に
鳥かごを持った男の人が部屋の窓か
ら顔を出しています。おそらくペッ
トのインコが逃げてしまったよう
です。インコを探してみてくださいね。

→こちらのページはみいちゃんが買い物
を終えてお店を出た場面です。
右の掲示板にこんなことが書かれています。

「さがしています このねこをみつけたひ
とは 292-3201へ おでんわください
ひらたより」



ひらた家のねこが迷子になってしまったの
でしょう。この絵本のどこかにいますので
見つけてあげてください。

このひらたさんは当時の福音館書店の編集者で、今は引退されています。
そしてこの番号は当時の福音館の電話番号で、実際に子ども達から「ねこみつけたよ」という
電話をいただいたそうです。(今は違う会社の電話番号になっています)

もう一枚の張り紙に「しばたしんごのおながきょうしつ」と書かれています。このしばた
しんごさんはこの絵本を作った編集者です。編集者は作者と二人三脚で絵本を作っていきます。
同じ作家でも編集者によって作品の質が変わることがよくあります。編集は作品の出来を左右
する大事な仕事です。

しばたさんは「すっかり自分も載せてもらった」と話していました。

(私はしばたしんごさんに直接会って絵本作りの裏話をたくさん教えてもらいました)

この他にもまだまだ遊び絵がありますので是非絵本を手にとって見てみてください。

「子どもは耳からお話を聞いて絵から情報を得る 子どもは絵の細部を見る」

「神は細部に宿る」という言葉もあります。細部へのこだわりが作品の本質を決める。
プロの絵本作家たちは芸術作品としての絵本を子どもに向けて作っています。
ぜひ本物の絵本を子どもたちと楽しんでいただけたらと思います。

林、筒井ペアはこの他にもたくさんの絵本を描かれています。あわせて読んでみてください。



上の三作品には「はじめてのおつかい」のみいちゃんやお店に来たお客さんたちが登場しますよ。
探してみてくださいね～

☆キッズ空手からのお知らせ☆

こんにちは。毎週木曜日、わくわくホールで空手とコーディネーショントレーニングの指導をしているキッズ空手講師の植松ひろえです。

私は、日頃から空手だけではなく、子どもたちへ色々なことを伝えられるよう、さまざまな講演会へ参加しています。その中で、自身の子どもがもっと小さい頃に聞いておきたかったと思うお話を聞き、今回多くの人にぜひ聞いてほしいという強い思いから、次の通り講演会を開催します。キッズ空手会員以外の方も参加無料ですので、ぜひ聞きに来てください。

日時：9月15日(日) 13:30~14:30(第一部)へご参加ください。

※参加希望の方は、↓案内チラシのQRコードから私とLINEを繋いで頂き、

①原町幼稚園・お名前 ②年中以上の参加合計人数 ③お電話番号をご連絡ください。



子供だった大人たちへ 大人の言葉が子供の意識を作る

川端知義(かわばたともよし)

1982年生まれ 新潟県長崎市出身

(有)passion 代表取締役

2005年25歳で個人事業主として独立。

2010年株式会社GROWINGUP設立。

2015年講師業スタート。

現在はイメージトレーニング、コーチング、
カウンセリング、心理学を掛け合わせ、
「言葉」「感情」「行動」「イメージ」からなる
新しい心理アプローチ「ポジショニング」を
伝えている。

肯定語に溢れた子育てが
子供の自己愛と自己肯定感を高める

2024年9月15日(日)

第一部(キッズ空手)

13:30~14:30

第二部(道場生)

15:00~16:30

参加無料!
お子様と一緒に
参加もOK!

場所 沼津市原1220-3

原地区センター多目的ホール

今よりもっと子育てを楽しむために
大人に聞いてほしいこと



申込はこちらから

日本空手協会沼津支部

沼津色みはこちから

植松洋恵

ID hiroe.0628

☎ 090-9137-4736



日本空手協会沼津支部

<https://jka-numazu.com/>

世界に飛び立て(3)

孫ちゃんす



こんにちは。はらっぽを通して20年間の子育てを振り返っています。
今回は「娘成長期編」です。

「つ」がつくまで、つまり9歳までの間に、何度も軌道修正を繰り返しながら娘はすくすくと育ってくれました。私自身が自分の課題に向き合う事は多々ありましたが、娘の育児はとても楽だったことを覚えています。聞き分けは良い、親の言うことは素直に受け止めてくれる、割と何でもできる、宿題をしないなんてことはありません。一人っ子ですので、比較のしようはないのですが、困った事はありませんでした。

しかし、じわじわと子育ての壁はやってきていました。

「毎日学校で黙って座って授業受けて、
帰ってきて課題に追われるって意味あるのかな」・・・16歳の娘
が言うのです。



母「でも、大学に行くためには勉強って大事だよな」
娘「・・・」

母「勉強できた方がいいかもよ」
娘「・・・」

会話が続かない。。。納得していない。。。。

もともと自主的に勉強する娘は、中学受験を経て中高一貫校の進学校に中学から入学しました。特に手がかからない娘、いつも笑顔の娘。・・・

学校生活に対する不満や悩みのようなつぶやきが増え、娘の顔から笑顔が少なくなってきました。と同時に、親との会話も減っていき、私が一人で話し、娘の不満に対して説得する日が続いていきました。

それに比例するかのように、学校には行ってくれるものの、不機嫌な日は増え、とうとう朝から晩まで暗く機嫌も悪く、まともに会話が出来ない日が続いていきました。

〔16歳、娘、不機嫌〕

〔女子、高2、機嫌悪い〕

当時、ほぼ毎日行っていた検索の履歴です。いったい何が起きているのかわからずに、情報を得ていました。わかった事は「思春期という状態にあること」でした。子育てがしやすかった一方で、初めて迎えた反抗期でした。



さて、どう対応したものか

娘は今、自分を律するための大切なステージに立っている。

そこで私は自分に問いかけます。

「娘にどうなってほしいのか？」

親の言う通りの子になってほしいのか、

それとも自分で考えて自分で歩ける子になって欲しいのか。

考えた結果、

「ちゃんと聞き尊重する」ことにしました。

- ・自分ではよくわからないけれどもイライラする
- ・友達は大切だけれども、勉強漬けの毎日はずらい、楽しくない
- ・私に進みたい道がある、それは大学にはない

よくよく聞いてみると、娘は自分の事を話してくれるようになりました。

私の高校時代と全く違う。。

母「いい学校じゃない～」

娘「親にとってはよい学校かもしれないけど、子どもにとっては地獄だよ」

たくさん話し、泣き、迷い、励まし、背中をおした半年間でした。

一番大切に思い尊重したことは

「娘が笑顔で幸せに生きる事」です。

その結果、高校2年生で自由に自分の好きな事を続けられる

デジタル校に転校しました。進学校からの転校です。

周りからの冷やかな反応や心配の声も沢山聞かれましたが、

豊かな時間を通し、自分の好きな事を貫き、娘は来年社会に飛び立ちます。

改めて、

親子であったとしても子どもは別人格であり、娘には娘の人生がある事を再確認しました。親が望む人生と娘が歩みたい人生は同じとは限らない事、10代はまだ未熟であり親が決めてあげないといけないという思いすら、親の価値観でしかない事を、私自身が学ぶ機会でした。娘がどのような人生を歩んでいくのか、今は楽しみしかありません。彼女が自分の人生を通して、誰かの役に立ち、誰かが幸せになっていくことを願っています。



はらっぱをご覧の皆さんこんにちは。
自家焙煎珈琲屋花野子の齋藤大地と申します。
2回目の投稿です。9月28日に開催される原町マルシェにも出店させていただきます。
当日は数種類の水だしアイスコーヒーとソフトドリンクをご用意する予定です。
最近イベントに我が娘が手伝ってくれるのですが、
かねてから娘がやりたいと言っていた
ペットボトルチャレンジをやりたいと思います。
そう ペットボトルを投げて 鉄棒選手のように見事着地したら成功のアレです。
成功したら、、、何か考えておくので楽しみにしてして下さい。

水だしアイスコーヒーには大きく2つの抽出方法があり、
1つは浸透式と呼ばれる麦茶のパックの様に水に漬けこみ8~10時間寝かすものと、
滴下式と呼ばれる一滴一滴時間をかけて抽出するものとありまして、
原町マルシェで用意するアイスコーヒーは後者の、
点滴で8時間かけじっくりと抽出されたアイスコーヒーになります。
8時間かけてじっくりと抽出されたアイスコーヒーは
洋酒の様な芳醇な味わいになります。
しかも中煎り/中深煎り/深煎りと3つの焙煎度合の珈琲をご用意するので
スッキリ爽やかなものから、しっかり苦味とコクのあるまろやかなものまで
飲み比べもしたり 牛乳入れたり ハチミツ入れたり (これお勧め)
ハニーサックルさんのケーキと併せてお楽しみ下さい。

水は高嶋酒造さんの富士山湧水を使用しております。

では当日皆様にご一緒することを楽しみにしております。



花野子が出来るまでの物語 その2

妻は会社、夫は家、という生活が始まった。

かの子「じゃ 会社に行ってくるね」

清一「いってらっしゃ~い」と妻をみおくり、夕飯を作る。

こんな生活の日々がすぎ、ある日清一は一冊の本を買ってきた。‘自家焙煎経営’。

ただ部屋になにげなくおいてあった。

かの子もなんとなく開いてはみたものの、現実味はなかった。

「自家焙煎かっこいいね。でも出来るわけないよね」と否定的だった。

清一は何か始めなくてはと、調理学校の喫茶3ヶ月コースに通いはじめた。

どうやら喫茶店を始めるらしい・・・。

コース終了後 知り合いの不動産屋さんに2人で行った。

「喫茶店をやりたいのですが、良い物件は無いですか？」

「えッ~！ 齋藤さん、今どき喫茶店なんか生活出来ませんよ。趣味で家で珈琲をたてお友達に飲ませたほうがいいよ、喜ばれるし・・・」

「喫茶店は財産がいっぱいあって、趣味でやるならいいけど、それで生活してゆくとということならば諦めたほうがいいよ」

まだ46歳、息子も学校がある、財産もない私たち夫婦は社長の言葉に納得し、また振り出しに戻った。

先の決まらぬ日々、不安と焦りが大きくなって行き、二人の会話は減っていった。

つづく・・・



リトルスター

夏休みの思い出を嬉しそうに教えてくれる子どもたち。たくさんの楽しい行事に参加し、新しいことへ挑戦をした子ども達は、また一回り成長した姿を見せてくれています。

まだまだ暑い日が続きますので、体調管理に気をつけ元気にお過ごしください。

前はシャボン玉遊びを一緒に行いました。自然と英語がたくさん溢れて楽しい時間を過ごすことができました。今月もよろしくお願い致します。

★先生のご紹介★

Ken先生

What festivals are favorite in your country?

好きな国はどこですか？



Hello
I like Vietnam!
ベトナムが好きです



Summer Vocabulary 単語とフレーズのご紹介

9月の英語テーマ

weather/Seasons (季節と天気)

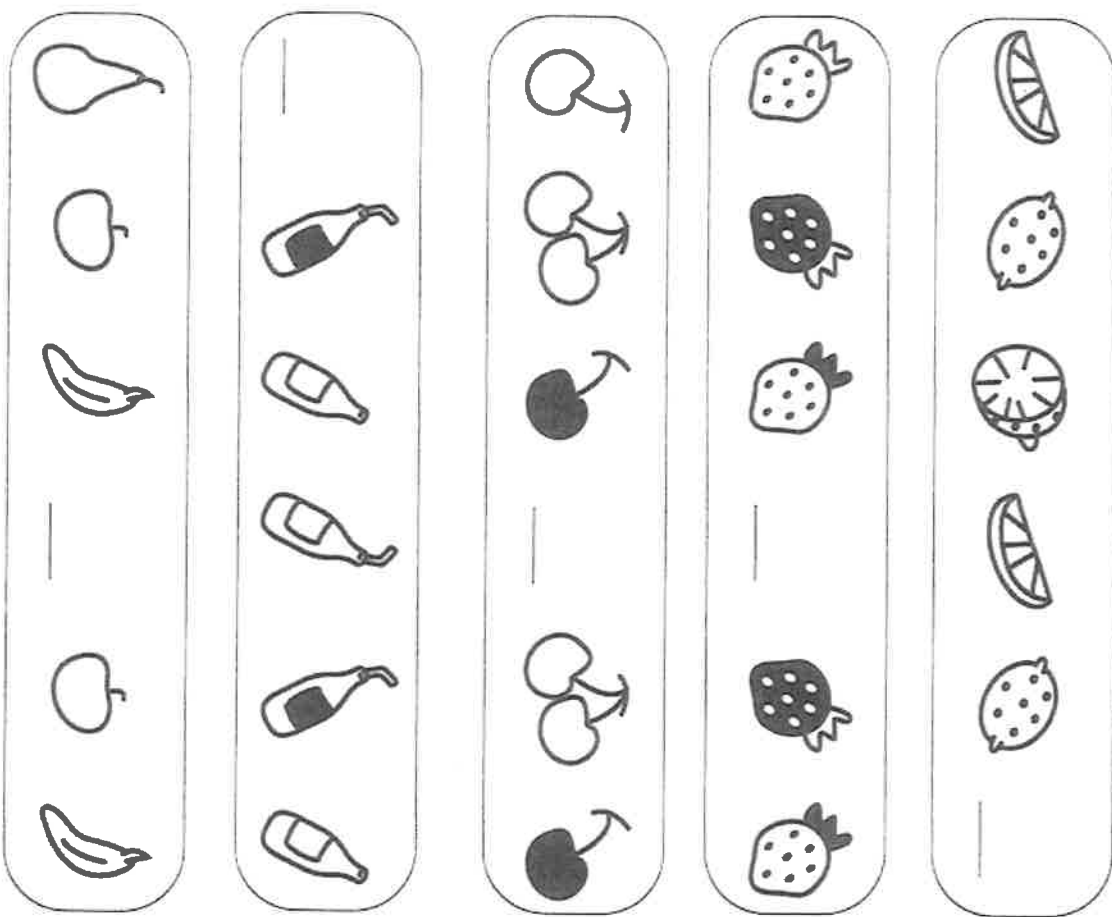
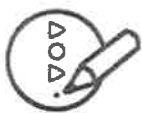
日本の四季を英語で表現してみましょう

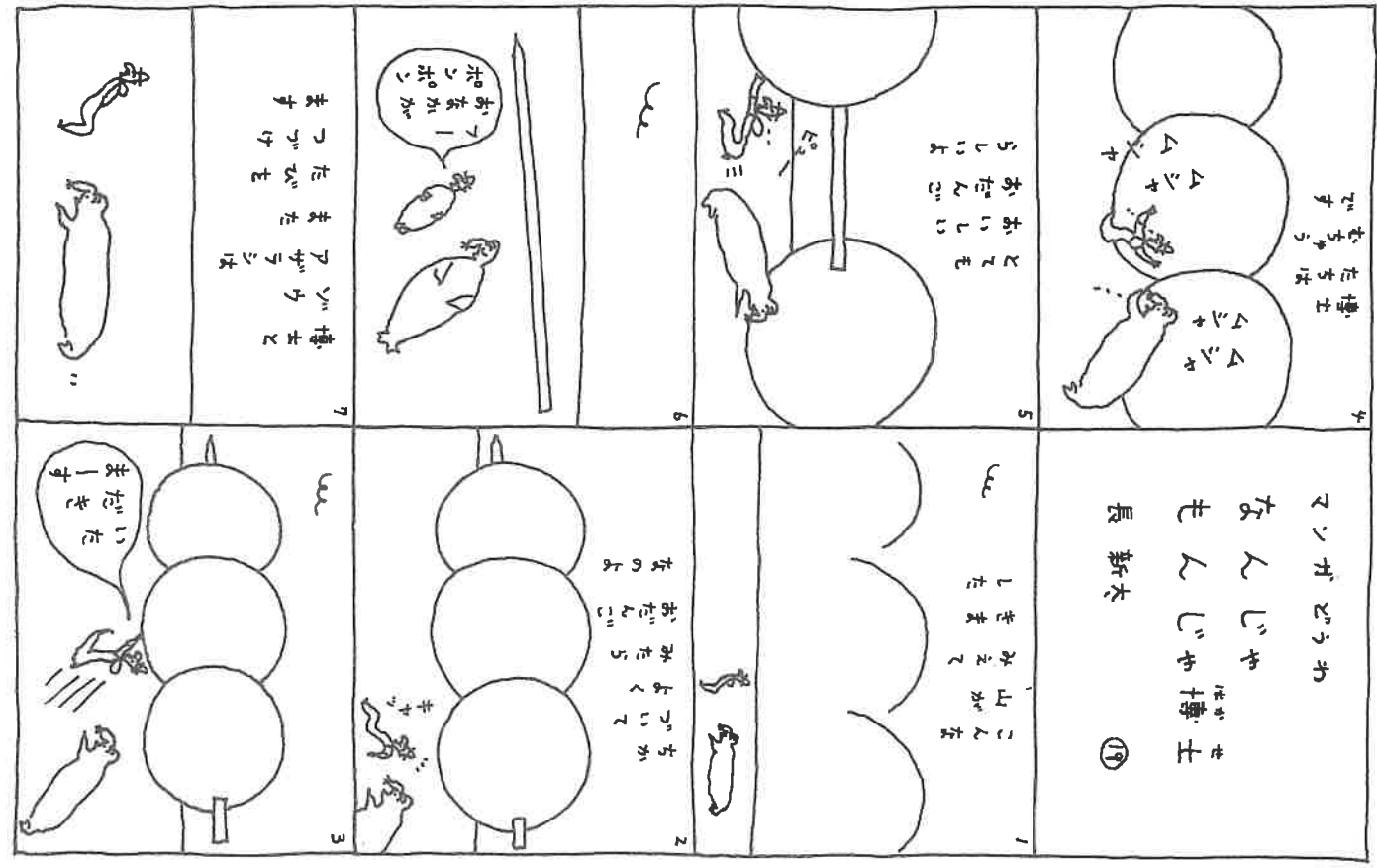
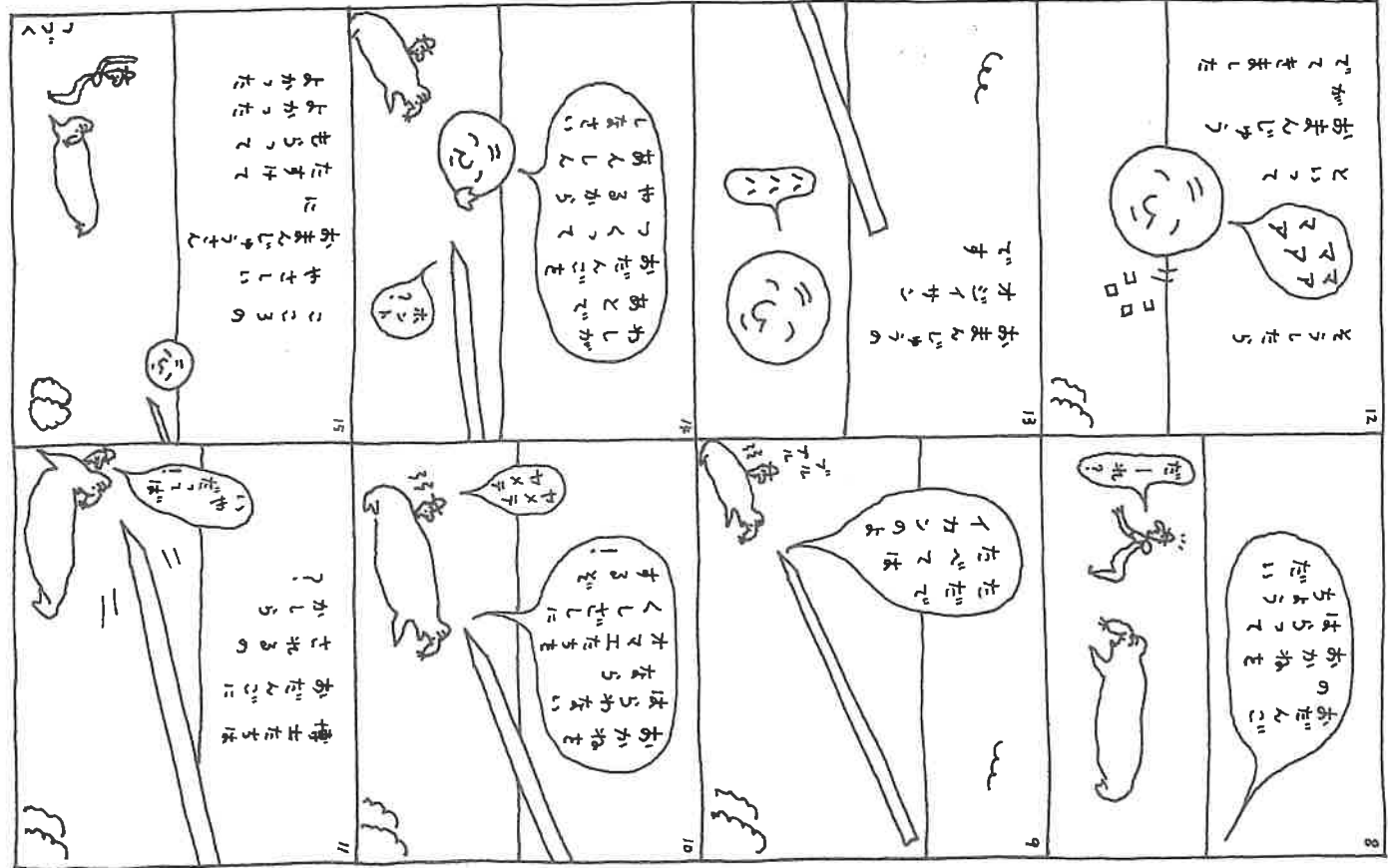
例：what's your favourite seasons and what do you like to do?



ball 	sandals 	popsicle
hat 	shovel 	bucket
sun 	ice cream 	sunscreen
shell 	sunglasses 	camera
chair 	umbrella 	summer

リトルスターへのお問い合わせはLineまたはHPまで
<https://www.lscollge.net/>
お気軽にご連絡ください





おだんこといふは、おかついて、あたりのようすをよくみて、ゆくりいだだましようね

やっぱり直接体験がだいじ！

夏休み明け、子どもたちが登園してきて、いつものように元気に遊びはじめてくれてホッとしました。「熱中症対策ですと家で過ごすことになってたんじゃないか・・・」なんて言う杞憂もありましたが、乗り越し苦労だったようです。(^^)v

夏休みの間、自分の思っていることを伝えたり、親の話の聞いたり、興味のあることにじっくり時間をかけて取り組んだりしたと思います。そんな時間を過ごしてきた子どもたちは、なんだか顔つきも変わって、話を聞く姿勢や自制的な行動から「成長したなあ！」と感ぜられます。

定期的に購読している『エデュカーレ』という専門誌5月号付録のブックレットを読んでから、今さらながら赤ちゃんからの発達と科学的な関わり方に興味を持ってきました。(はらっぱ6月号で紹介した“首がすわる前の縦抱き注意！”の記事もエデュカーレから引用したものです)

さらに6月には、県私幼PTA総会にゆうき先生と出席して「科学的に子育てを考える」というテーマで講師のお話を聞きました。

今まで行ってきた保育の方向性が間違っていなかったことを確認できたことと、脳科学、行動心理学という学問をもとに説明された内容が、二人とも「なるほどー！」と腑に落ちて、ますます「科学的な子育て」に傾倒しているこの頃です。

その理由の一つが「昨今の入園前の子どもたちの発達の遅さ」にあります。そろそろ会話してもいい年齢なのにことばが出ない、食事の偏りが目立つなど、自分たちがいままで経験してきた子どもの順調な発達が何かに邪魔されているんじゃないの？って思うケースが増えていると感じるからです。発達が遅いのも個性・・・という考え方もあるかもしれませんが、私たちは、子どもたちの発達を促して、将来社会生活が送れるように育てることが仕事なので、この状況にはかなり危機感を持っています。(科学的な方法・・・が解決の手がかりになればと願っています)

子どもの成長を考える時、「心」に注目しがちだったのですが、「体」や「行動」からみていくことが必要な発達のしくみを科学的に知ることになるのです。

たとえば、本で紹介されているゴンドラ猫の実験では、猫AとBは同じ景色を見ていたのに、装置から出した猫Bは、正常に動けなかったそうです。人間も同じで、ものは見えていても自ら動いて経験しない限り、体のコントロール能力は発達しない、ということです。

僕はYouTubeなどを小さい頃から長時間視聴している子どもたちが猫Bと重なって思い浮かびました。

子ども一人一人の持ち時間はどの子も同じで限られています。その時間をバーチャルに割り当てると、そのぶんリアルな体験、人との関わりは減ってしまうわけです。猫Bにならないようにするには、直接体験

(話したり触ったり動いたり)が大切なのはいうまでもなく、科学的に証明されているということです。

2学期も園ではガンガン直接体験をやっていきますので、ご家庭でもどうぞこのことを頭に置いて、お子さんの生活時間をリアルなもので満たしてあげてほしいです。園長 鶴谷主一

←「発達深掘りブックレット」に興味のある方はこちらをご覧ください。

園でまとめて購入してお分けますので、ご希望の方はアプリケーションからご注文下さい。(650円)



※アメリカの実験(1963)。生後8-12週の子猫を、1日3時間-6週間、装置内で過ごさせた(それ以外は、母猫やきょうだい猫と遊園の中)。





Haramachi

はらまちようちえん編集・発行

410-0312 静岡県沼津市原199の1
phone 055-966-7338 fax966-7370
<http://www.haramachi-ki.jp>

CLASS

NAME

